

H25 年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	亀田東児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	指定期間	平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日
担当課	江南区役所健康福祉課		
所在地	新潟市江南区亀田水道 4 丁目 1 番 4 8 号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	<p>敷地面積 1, 5 8 8 . 9 1 m² 建築面積 5 3 6 . 2 0 m² 延床面積 5 2 6 . 8 5 m² (児童館部分 4 1 1 . 2 4 m², ひまわりクラブ部分 1 1 5 . 6 1 m²)</p> <p>建物構造・主な施設内容 鉄骨造平屋建て 集会室 (33.94 m²) 創作活動室 (34.04 m²) 遊戯室 (196.00 m²) 図書室 (13.13 m²) 鑑賞室 (12.00 m²) 相談室 (6.11 m²) 事務室 (24.24 m²) ひまわりクラブ室 (115.61 m²)</p>		

施設設置目的

児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として、亀田東児童館を設置する。

管理・運営に関する基本理念, 方針等

亀田東児童館管理運営の基本方針

- 1 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とします。
- 2 子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。

亀田東児童館の事業運営の 5 つの柱

- 1 健全な遊びを通じた児童の集団及び個別指導
- 2 中学生・高校生等の年長児童の自主的な活動に対する支援
- 3 母親クラブ、子ども会等の地域組織活動の育成助長及び指導者の養成
- 4 子育て中の親からの相談に応じるなどの子育て家庭への支援
- 5 地域の児童の健全育成に必要な活動

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	行事だより、ホームページ等による児童館活動に関する情報発信 2回以上/月	・行事だより毎月1回発行 ・ちらし、ポスター掲示 ・区だよりに行事掲載	B	定期的な情報発信やちらし、ポスターの活用により広報活動の充実に努めた。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準:60人×359日) 21,500人以上	年間来館者数 29,626人 1日平均 83人	A	利用者数が基準人数を超え、昨年度より約6,000人増加した。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	年9回実施 (さくらんぼくらぶ、ひよこ広場)	B	利用者の声を聞き、業務の改善に活かした。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答	苦情・要望なし	—	—
財務	管理運営経費の縮減	経費節減への取組み事項3件以上	・こまめな節電 ・裏紙の利用 ・工作の材料に空箱を利用 など	B	普段から、全職員が経費節減に取り組んだ。
業務	設置目的の理解	・運営委員会の実施数 2回以上/年 ・地域交流事業の実施数 2回以上/年	・運営委員会7月、2月に実施 ・なつまつり、ふゆまつり、お正月お楽しみ会の実施	B	運営委員会において、活発な意見交換が行われた。地域住民の協力を得て、積極的に交流を図った。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告 一両日中	事故について当日あるいは翌日に報告	B	今後も早期報告を徹底し、事態の把握と早期解決に努める。
	安全安心の確保	・防災訓練実施回数 年2回以上 ・事故発生時のマニュアルによる研修実施数 年2回以上	・6月と11月にひまわりクラブとの合同の避難訓練を実施 ・毎月、マニュアルによる研修実施、AED、消火器、避難経路の確認点検	A	職員への周知徹底を図り、事故や災害への備えを十分に行った。消毒等によるインフルエンザ等の感染症対策も徹底した。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修の実施 年1回以上	毎月職員間で個人情報保護について確認	B	全職員に徹底が図られた。
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	・仕様書に定める事項を遵守した	B	業務仕様書を確認しながら、業務を行うことができた。
人材	配置人員条件の充足	業務仕様書に定める基準を満たしている	・常勤3人、非常勤3人	B	所定の人員配置を満たしていた。
	配置人員の資質向上	実務研修 1人年2回以上受講	・研修参加 計16回 ・1人年2回以上研修を受講	B	積極的に研修に参加し、人材育成に努めた。

総合評価(所見)

隣接するひまわりクラブとの連携により、ひまわりクラブの利用者が自由に児童館で遊べるようになり、利用者数が大幅に増加した。引き続き安全面に注意しながら利用者増に努めてもらいたい。

9月から乳幼児とその保護者を対象にした「さくらんぼくらぶ」を開催し、子育て世代の保護者同士のつながりを深める機会を提供している。今後、参加者を増やし母親クラブの立ち上げにもつなげていってもらいたい。

児童館の設置目的が実現されるよう、施設の適正な管理運営に努め、施設運営のさらなる充実と、魅力的な事業展開を期待する。